

I 調査の概要

1. 調査の方法と内容

1道6県(北海道・青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県)の市町村教育委員会に、所管する小中学校の「東日本大震災に伴う修学旅行の実施状況調査」を依頼し、以下の通りまとめた。

- (1) 調査の期日 平成23年5月6日付調査依頼書発送
- (2) 調査内容
 - ①管内の学校数、修学旅行実施学年、対象・児童生徒数、旅行日数、連合体輸送の有無
 - ②平成23年度修学旅行の当初計画：旅行先、実施月、学校数、児童・生徒数
 - ③震災後の修学旅行の実施状況(予定)【当初計画通り・日程変更・方面変更・日程方面共変更・中止など】
 - ④教育委員会から学校側への対応(指導など)
 - ⑤遠足・校外学習等の実施状況

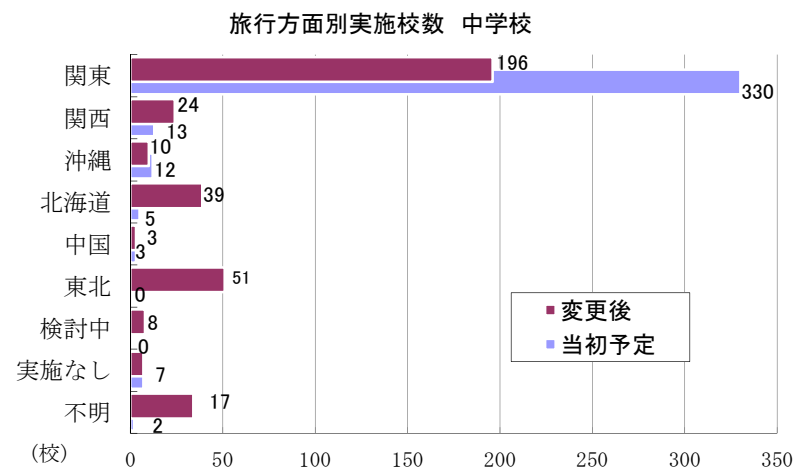
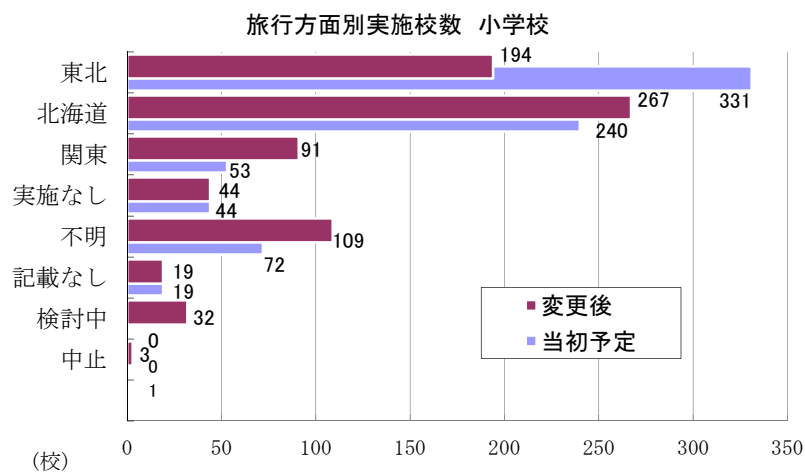
2. 集計及び調査項目など

- (1) 東北6県と北海道でそれぞれ集計をまとめ、更に東北は各県別に集計し、北海道は振興局別に集計した。
- (2) 各県別集計(北海道は振興局別集計)は、回答のあった自治体の学校数に対しての変更状況を日程別・方面別等に集計した。
- (3) 変更状況欄には方面・日程等の変更内容、教育委員会の対応欄には学校との協議内容、指導、助言等を記載した。
- (4) 各集計表のグラフは回答データを表示したもので、未回答は含まれない。

II 調査結果の概要

1. 東北集計概要

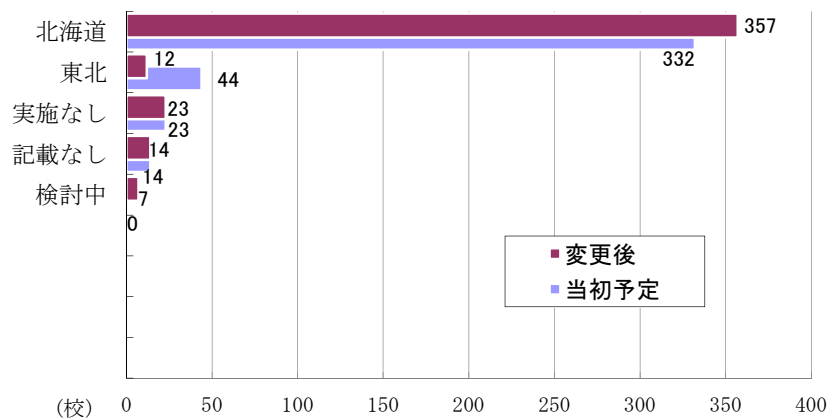
- ① 東北6県の調査対象自治体数228、回答83、回答率36.4%で、小学校2,280校のうち回答759校、未回答1,521校、回答率33.2%となり、同中学校1,061校の内、回答372校、未回答689校、回答率35.0%であった。
- ② 方面別当初計画は、小学校が東北44%、北海道32%、関東7%、実施なし6%、その他11%であったが、変更後は北海道35%、東北26%、関東12%、実施なし6%、検討中含めたその他は21%となり東北が減少した。中学校は当初計画が関東89%、関西3%、沖縄3%、北海道1%、中国1%、その他3%、変更後は関東が53%に減少、東北14%、北海道10%、関西6%、沖縄3%、中国1%、実施なし2%、検討中含めたその他11%となり、関東方面への大幅な減少が東北・北海道及び各地区への移行を底上げした格好となった。
- ③ 日程変更は小学校27校、中学校177校で、日程・方面共に変更は小学校115校、中学校38校、中止した学校は小学校3校、中学校6校になった。



2. 北海道集計概要

- ① 調査対象自治体数179、回答72、回答率40.2%で、北海道内小学校1,236校のうち回答413校、未回答823校、回答率33.4%、同中学校651校、の内、回答242校、未回答409校、回答率37.1%であった。
- ② 方面別当初計画は、小学校が北海道内80%に対して東北11%、実施なし・その他9%であったが、変更後は北海道内86%、東北3%、検討中を含めたその他は11%となり道内が増えて東北が減少した。中学校は当初北海道内49%、東北37%、関東8%、その他6%が、変更後は北海道内が73%に増え、東北が4%に大幅減少となり、関東も4%となった。
- ③ 日程変更は小学校2校、中学校7校で、日程・方面共に変更は小学校7校、中学校38校であり、中止した学校は小・中学校ともになかった。

旅行方面別実施校数 小学校



旅行方面別実施校数 中学校

